



写真: スギヒラタケ (撮影: 平成29年9月21日)

「スギヒラタケ」

天使の翼

秋の入口、朝夕の気温が冷えこみだすとたくさんのキノコたちが顔をだします。

ハイキングコース脇のコケむした倒木から真っ白なスギヒラタケを見つけました。木漏れ日を浴び、とてもいきいきとし、モスグリーンと純白が美しいコントラストを生み出します。

名前に「スギ」とありますが、アカマツからも生えます。アカマツだらけのえびの高原、湿度の高い林内によく見られます。以前は食用とされていましたが、現在は食用には不適とされています。なにを境に有毒となったのか。キノコの世界はまだまだ謎だらけです。

このスギヒラタケを観察する際は、ぜひ、下から見上げて見ることをお勧めします。白く薄いため太陽光を透過させ、より立体的により美しく見えます。美しさゆえ欧米では「天使の翼」とも呼ばれています。食べるだけではもったいない霧島山を彩るキノコ、じっくりと観察、観賞してみることをお勧めします。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

スギヒラタケ
Pleurocybella porrigens

ハラタケ目 キシメジ科